

2026年1月13日

第78期定時株主総会 事前質問に対するご回答

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第78期定時株主総会の開催に先立ち受付を実施しておりました事前質問の中から、株主様の関心が高いご質問につきまして、下記の通り回答申し上げます。

記

Q1. 過年度に多額の損失を発生させた海外取引先との取引について、その後の状況及び今後の計画・見通しについて教えて欲しい。

A1. 現在の同社の状況に関しましては、経費削減を中心とした業務改善や現地漁獲量の回復により業績は改善しております。当社は同社との取引として引き続き水産物の仕入れを行っておりますが、同社向けの商品販売及び資金支援は行っておりません。債権回収も一部進み、今後は同社の資産売却による自力再建と、当社への返済を求めてまいります。

Q2. 2025年11月13日付で開示された、中期経営計画の見直しについて、今後の展望も含め教えて欲しい。

A2. 今回の中期経営計画の見直しについて、売上高の減少見込みは、食品販売事業における漁獲量減少、不採算取引の見直しが主な理由でございます。利益目標の減少見込みにつきましては、冷蔵倉庫事業における建築費高騰に伴う減価償却費の増加による収益の圧迫や、利益改善に向けた施策として売り上げ規模を一時的に縮小していることが要因です。これらの対策として、冷蔵倉庫事業においては、エネルギー効率の改善や運転コストの最適化を推進し、収益性の向上を実現してまいります。食品販売事業においては、セグメント利益率を重視した選択と集中により、資本効率の高い事業ポートフォリオへと転換してまいります。短期的には業績の下方修正として表れておりますが、中長期的な企業価値の向上のための重要な構造改革とご理解いただきたく存じます。

以上